

## 平成23年度当初予算の概要について

### 【一般会計当初予算】 49億1,000万円

当町の平成23年度一般会計当初予算額は49億1,000万円で、平成22年度当初予算額48億4,000万円と比較すると、7千万円(1.4%)の増額予算となりました。

歳入では、町税は減収見込みとなるものの、交付税の増額を見込み、子ども手当の拡充・市街地整備総合交付金等による国支出金の増額を見込みました。子育て支援施策としては、肺炎球菌(7価)・Hibワクチン予防接種への補助、22年度の改築に伴うかんら保育園の定員増、幼稚園3園へのエアコン設置があります。歳出では、前述した交付金による歴史的建造物保存活用事業のほか、新規統合中学校建設に向けた用地取得費等を見込み、教育の充実及び歴史を生かしたまちづくりに重点をおいた予算としました。増額の主な要因は、その他では、スマートインターチェンジ調査費や内久保橋補修工事、デイスティネーションキャンペーンに備えた楽山園番所の建築などによるものです。

歳入の主な財源をみますと、町税では、不況により個人住民税で1億円の減収を見込む一方で、景気の底打ち感から法人住民税では、13,400千円の増収を見込んでいます。一方で、固定資産税は、設備投資の抑制等により3,100千円の減収を見込み、たばこ税も10,000千円の減収を見込みました。その結果、町税全体では前年対比99,000千円(7.1%)の減収となる見込みです。

地方消費税交付金は、5,000千円の増収を見込み、ゴルフ場利用税交付金も2,000千円の増収を見込んでいます。地方交付税のうち普通交付税では、「雇用対策・地域資源活用推進費」が25年度まで措置され、単位費用に上乘せが見込めることから、60,000千円の増収を見込みました。

国庫支出金では、子ども手当国庫負担金の拡充による増、市街地整備総合交付金の増等で前年対比82,846千円(21.2%)の増額を見込みました。

県支出金では、介護基盤緊急整備事業の皆減等により97,675千円(23.8%)の減額を見込みました。

町債でも、臨時財政対策債を33,000千円増としたものの、22年度実績比では70,000千円下回り、全体では前年対比43,800千円(15.9%)の増額を見込んでいます。

歳出の主な経費として、投資的経費では、新規統合中学校用地取得事業、新屋小学校プール塗装整備事業、林道改良事業、楽山園環境整備事業などで、前年度対比55,883千円(10.3%)の減額予算となりました。

また、義務的経費では、人件費の増(5,179千円)、扶助費では子ども手当の拡充等により、64,573千円の増、また、元金・償還利息の減少による公債費の減(20,111千円)等により、前年対比49,641千円(2.3%)の増額予算で、予算全体の44.7%(2,196,310千円)を見込みました。物件費は、貸金・需用費・委託料などの増額により61,728千円の増、補助費等も16,240千円の増となりました。

### 特別会計別の状況

会 計 名	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	備 考
国民健康保険事業	1,545,000	1,542,900	2,100	0.1	歳入は前期高齢者交付金の増等による 歳出は後期高齢者支援金の増等による
介護保険事業	880,400	910,400	▲ 30,000	▲ 3.3	保険給付費減(30,173千円)等による
農業集落排水事業	144,800	143,200	1,600	1.1	維持管理経費の増(3,553千円)等による
公共下水道事業	353,500	412,100	▲ 58,600	▲ 14.2	建設事業費の減(55,205千円)等による
後期高齢者医療	105,800	101,000	4,800	4.8	広域連合納付金の増(4,771千円)等による
水道事業(企業会計)	351,435	492,844	▲ 141,409	▲ 28.7	収益的支出が前年対比で、6,500千円の増 資本的支出が前年対比で、147,909千円の減
合 計	3,380,935	3,602,444	▲ 221,509	▲ 6.1	



【一般会計歳入予算】

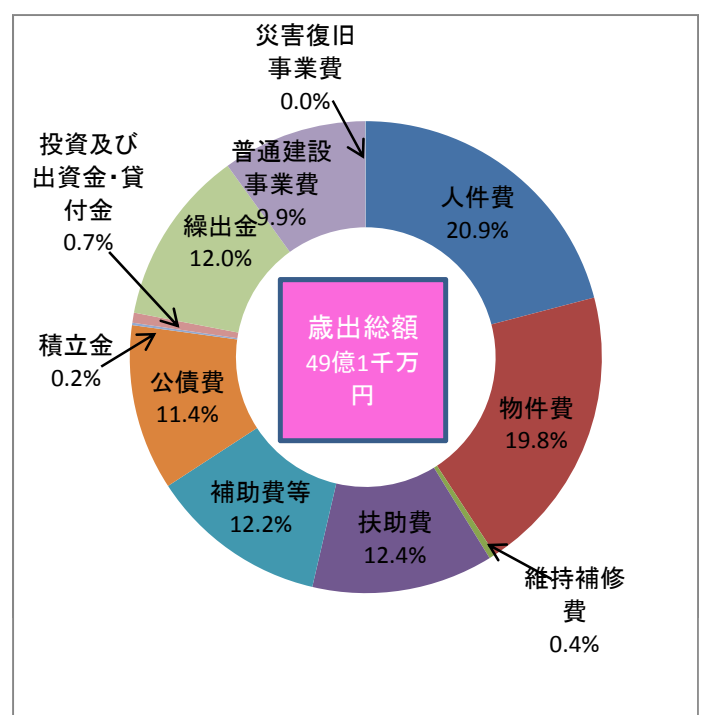
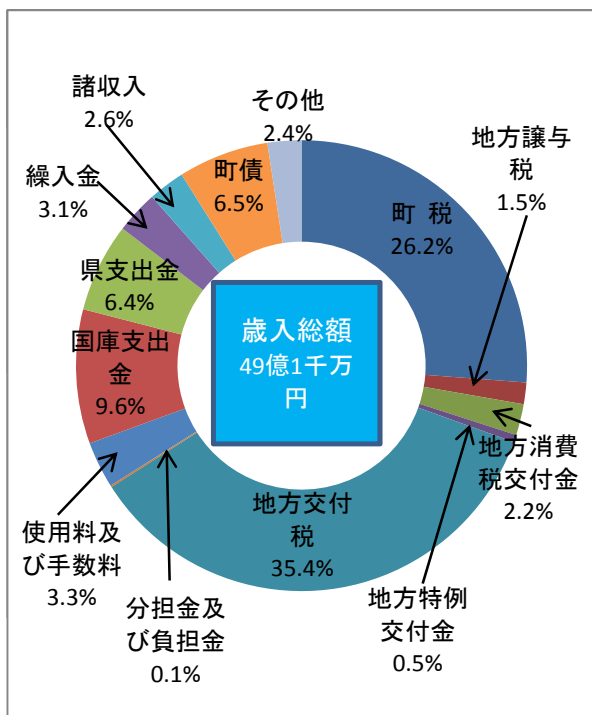
単位:千円・%

項目	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	構成比	備考
町 税	1,285,921	1,384,925	▲ 99,004	▲ 7.1	26.2	景気低迷による個人町民税等の減
地方譲与税	76,000	76,000	0	0.0	1.5	前年並みを見込む
地方消費税交付金	110,000	105,000	5,000	4.8	2.2	景気底打ちにより増を見込む
地方特例交付金	26,000	21,300	4,700	22.1	0.5	子ども手当特例交付金の増等による
地方交付税	1,740,000	1,680,000	60,000	3.6	35.4	22年度決算見込並みを見込む
内、普通交付税	1,660,000	1,600,000	60,000	3.8	33.8	
内、特別交付税	80,000	80,000	0	0.0	1.6	前年並みを見込む
国庫支出金	472,889	390,043	82,846	21.2	9.6	子ども手当国庫負担金等による増
県支出金	313,191	410,866	▲ 97,675	▲ 23.8	6.4	地域密着型介護老人福祉施設補助金皆減等による
繰入金	150,003	80,005	69,998	87.5	3.1	学校建築基金繰入金の増等による
町 債	318,800	275,000	43,800	15.9	6.5	臨時財政対策債等の増等による
その他	417,196	416,861	335	0.1	8.5	繰越金の増等による
合 計	4,910,000	4,840,000	70,000	1.4	100.0	

【一般会計歳出予算】

単位:千円・%

項目	当初予算額	前年度当初予算額	差引増減	対前年比	構成比	備考
議会費	98,970	78,963	20,007	25.3	2.0	議会運営経費の増による
総務費	665,181	634,243	30,938	4.9	13.5	企画調整経費の増等による
民生費	1,250,570	1,284,073	▲ 33,503	▲ 2.6	25.5	地域密着型介護老人福祉施設補助金皆減等による
衛生費	402,560	377,852	24,708	6.5	8.2	予防接種事業費の増等による
労働費	10,015	10,015	0	0.0	0.2	前年並みを見込む
農林水産業費	371,832	350,005	21,827	6.2	7.6	林業振興事業費の増等による
商工費	98,630	284,618	▲ 185,988	▲ 65.3	2.0	長岡今朝吉記念ギャラリー建設費の減等による
土木費	364,541	300,743	63,798	21.2	7.4	道路新設改良費の増等による
消防費	243,767	239,683	4,084	1.7	5.0	常設消防費の増等による
教育費	836,179	691,938	144,241	20.8	17.0	新規統合中学校建設事業費の皆増等による
災害復旧費	10	11	▲ 1	▲ 9.1	0.0	科目存置分減
公債費	557,745	577,856	▲ 20,111	▲ 3.5	11.4	元利償還金の減による
予備費	10,000	10,000	0	0.0	0.2	
合 計	4,910,000	4,840,000	70,000	1.4	100.0	



# ◇一般会計における主な事業内容

単位:千円

事業名	事業費	内 容 等
<b>【住民・福祉・医療関係】</b>		
まちづくり定住応援金事業	5,600	取得した住宅の初年度の固定資産税相当額を交付する。
滞納整理経費(分割新規)	200	税負担の公平性確保のため、滞納者の預金調査・訪問等を行う。
福祉医療事業	112,836	福祉医療の充実を図るため、中学生までの医療の無料化(通院・入院)を実施
障害者自立支援事業(拡充)	168,822	障害者自立支援法に基づく、居宅支援・短期入所・施設支援などの援助事業
保育園運営事業	58,870	23年度より定員150名とし、保育の充実を図るとともに、保育環境の改善を実施する
予防接種・保健事業(拡充)	57,682	予防接種の実施や各種ガン検診の実施(肺炎球菌7価・Hibワクチン接種は新規で行う)
出産祝金支給事業(方式変更)	4,250	23年度より子どもひとりあたり5万円を地域振興券(商品券方式)で交付する。
子ども手当支給事業(拡充)	268,535	三歳以上中学生までひとりあたり月額1万3千円、三歳未満2万円の支給を行う。
<b>【保健衛生・環境対策関係】</b>		
ごみ収集処理委託事業	105,643	ごみの収集から運搬、焼却処分までの事業。一層のごみ減量化を図る。
ごみ埋立処理事業	19,305	最終処分場における、ごみ処理・保守点検・検査委託等。処分場の延命に留意する。
し尿処理事業	29,896	富岡甘楽衛生施設組合への負担金及び合併処理浄化槽設置者への補助事業
環境対策事業(拡充)	11,105	リサイクル補助・住宅用太陽光発電補助等を行う。23年度は環境リサイクルフェアを行う。
<b>【産業・商工振興関係】</b>		
観光施設整備事業	26,003	小幡八幡宮公衆トイレ・楽山園番所の建築等を行い、観光客の誘致を図る。
金融対策事業	24,676	町内中小企業の振興を図るため、運転資金、設備資金借入に対する利子補給
土地改良事業	9,476	用水・排水路・ため池漏水工事を実施することにより、周辺土地の基盤安定を図る。
林道整備事業(拡充)	50,972	草喰・八丁河原線(芳の元・大平・白倉・鳥屋工区)の林道整備事業等
農業振興事業(一般)	3,776	きゅうり自動選別機・マニアスプレダの導入補助等を行う。
長岡今朝吉記念ギャラリー運営事業	8,049	開館後の維持管理のほか、パンフレット等作成しPRにつとめる。
林業振興事業(拡充)	34,778	経営作業道の増強のほか、23年度は森林セラピー基地認定業務委託を行う。
<b>【道路・都市整備関係】</b>		
道路新設改良事業(拡充)	47,000	町道の新設改良・側溝新設工事等。スマートインターチェンジ調査委託料。
町道維持補修事業(拡充)	15,084	町道の安全を図るための舗装工事、維持補修工事。
橋梁維持補修事業(拡充)	24,300	橋梁点検のほか、23年度は内久保橋補修工事を行う。
歴史的風致交流拠点整備事業(新規)	20,194	寄附建物を歴史的風致形成建造物に指定のうえ整備し、交流拠点として活用を行う。
都市公園管理事業	14,959	甘楽総合公園等の遊具管理、植栽管理、維持管理等(シルバー人材センターへの委託を含む。)
<b>【消防・防災対策関係】</b>		
防災基盤整備事業	5,000	防火水槽(1基)を設置する。
<b>【教育・文化・スポーツの充実関係】</b>		
英語指導助手設置事業	9,898	国際化教育のため、小・中学校等にALTを派遣する。23年度からの小学校5・6年生の英語活動にも対応。
楽山園整備事業	89,456	整備計画(10ヵ年)の最終年として、入場有料化に向けた説明板等整備を実施する。
放課後子ども教室推進事業	3,778	小学校の空教室を利用して、放課後安全で健やかな居場所づくりを推進する事業
文化会館運営事業	34,734	「薪能」等自主事業を実施する。和太鼓を購入する。
歴史的建造物保存活用事業(新規)	12,875	県指定史跡を歴史的風致形成建造物に指定後に整備するため調査設計を行う。
幼稚園施設維持管理事業(拡充)	7,774	通常の維持管理経費のほか、3園へのエアコン設置工事を行う。
新規統合中学校建設事業(新規)	137,000	統合中学校建設に向けて測量・用地取得を行う。
<b>【国際交流関係】</b>		
ハルビン市・チェルタルド市交流事業	5,829	(ハ)第8次中学生研修団派遣及び受入、(チェ)文化交流使節団受入を行う。
<b>【バス路線等確保関係】</b>		
幹線交通対策事業	25,845	公共交通機関の確保のため、乗合タクシー・上信電鉄への助成を行う。
<b>【交通安全対策関係】</b>		
交通安全対策事業	5,576	交通安全を図るための、各種啓発活動やカーブミラー等の設置工事
<b>【情報技術関係】</b>		
電算経費(総合行政システム、地域情報システム等運営事業)	96,339	行政事務の電算化をさらに推進し、事務の効率化と住民サービスの向上に寄与するとともにシステムの更新により迅速性・確実性を高める。住民基本台帳法の改正に対応する。
<b>【その他関係】</b>		
企画調整経費(拡充)	38,356	23年度は、第5次総合計画の策定及び地図データのデジタル化を行う。

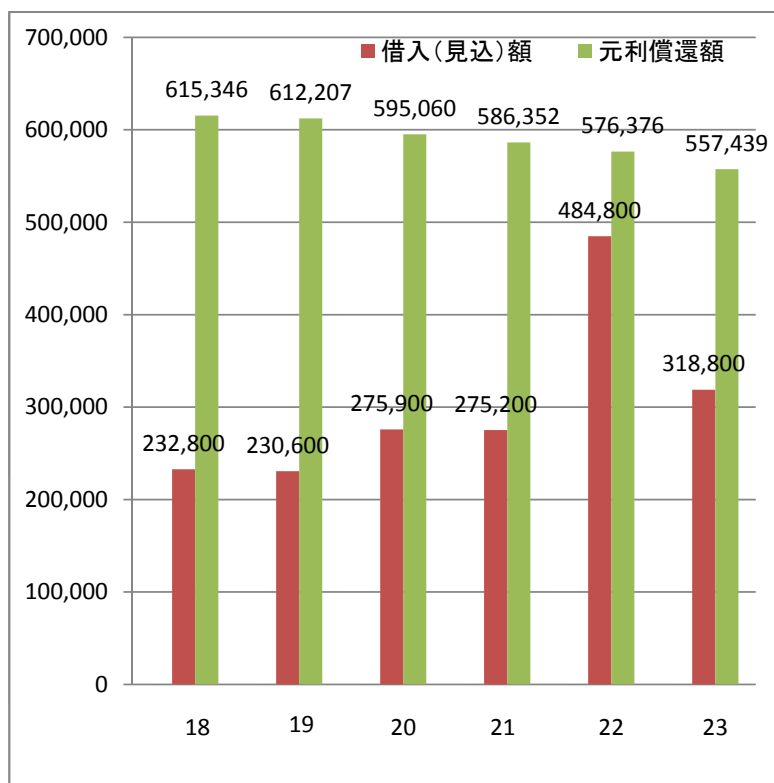
## 地方債借入額及び償還金の推移(一般会計)

単位:千円

年度	借入(見込)額	元 利 償 還 額	年 度 末 償 還 残 高
18	232,800	615,346	5,204,330
19	230,600	612,207	4,916,283
20	275,900	595,060	4,682,569
21	275,200	586,352	4,450,580
22	484,800	576,376	4,431,369
23	318,800	557,439	4,259,278

地方債残高は、大規模な施設整備の減少により、平成13年度末(残高 60億1,600万円)をピークに年々減少しており、平成23年度末には、42億円台を見込んでいます。今後も財政状況を考慮しながら、適債発行に努めます。

平成23年度末償還残高見込みは平成17年度末対比で マイナス22.4%です。なお、20年度からの借入の増加傾向は、臨時財政対策債の増加が主な要因であり、22年度は小幡小体育館分の起債が影響しております。



## 基金残高の推移(一般会計)

単位:千円

年度	財政調整基金	減債基金	その他特定目的基金	基金残高の合計
18	965,168	65,758	351,270	1,382,196
19	1,056,447	65,943	601,025	1,723,415
20	1,088,610	86,214	791,199	1,966,023
21	1,169,984	86,419	1,134,776	2,391,179
22	1,164,693	86,501	1,106,069	2,357,263
23	1,165,836	86,588	962,546	2,214,970

財政の健全化や安定化を図るため、経費の節減や人件費の削減等を実施した効果により、平成21年度末までは基金残高は増加しましたが、22年度は、長岡今朝吉記念ギャラリー建設のため基金の取り崩しを行い、23年度も新規統合中学校用地取得のため取り崩しが予定されております。したがって、23年度末は約22億1,500万円の残高を見込んでいます。地域福祉の向上や学校統廃合に備えるため、今後も経費を節減し、基金の取り崩しを最小限に抑えるよう努めます。

